Panasonic

内蔵モデムの使い方

本書では電話回線を使ってインターネットに接続する方法、モデムリングリジューム機能および AT コマンドの設定方法について説明しています。

表記について

- 本書では、Windows 7 / Windows Vista / Windows XP 共通の手順および画面については、Windows 7 の手順および画面で説明しています。
- Windows Vista の場合、メニューが一部異なる場合があります。
- Windows Vista / Windows XP の場合、通知領域のアイコンをクリックする操作で [▲] をクリックする必要はありません。

電話回線でインターネットに接続する

一般電話回線でインターネットに接続するには、本機に内蔵されているモデムを使います。

本機のセットアップユーティリティの「詳細」メニューには次の項目が表示され、内蔵モデムの有効／無効を切り替えることができます。
アンダーラインは工場出荷時の設定です。

モデム	内蔵モデムの機能を使用する（有効）/ 使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

<Windows 7 / Windows Vista の場合 >

- 操作中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックしてください。
  標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力して［はい］または［OK］をクリックしてください。

<Windows XP の場合 >

- 「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。

Step 1 所在地情報の設定をする

インターネットに接続する場所に合わせて、所在地情報を設定します。

<Windows 7 / Windows Vista の場合 >

1 （スタート）-［コントロールパネル］をクリックする。

2

<Windows 7 の場合>

① ［インターネットへの接続］をクリックする。
② ［ダイヤルアップ］をクリックし、［ダイヤル情報］をクリックする。
③ ［国名/地域名］の ▼ をクリックし、［日本］をクリックする。

<Windows Vista の場合>

① ［ハードウェアとサウンド］をクリックする。
② ［電話とモデムのオプション］をクリックする。
③ ［国名/地域名］の ▼ をクリックし、［日本］をクリックする。

3 ダイヤル発信する場所や回線に合わせて所在地情報を設定し、[OK] をクリックする。

4 [OK] をクリックする。

<Windows XP の場合 >

1 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックする。

2 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックする。

3 [電話とモデムのオプション] をクリックする。
国や回線を入力する画面が表示された場合は、入力して [OK] をクリックします。

4 [新しい所在地] をクリックし、[編集] をクリックする。

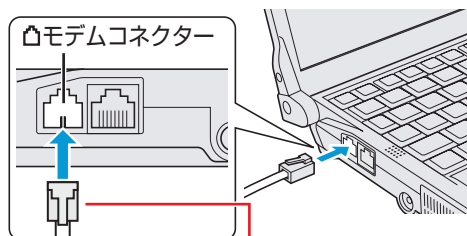
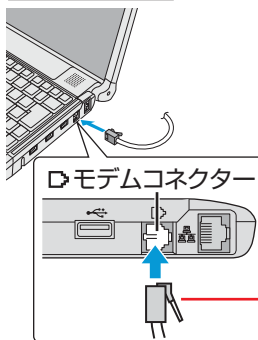
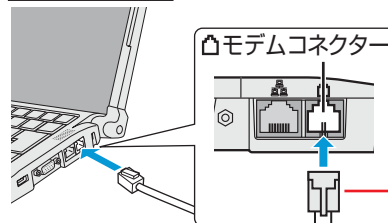
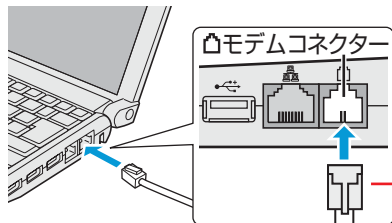
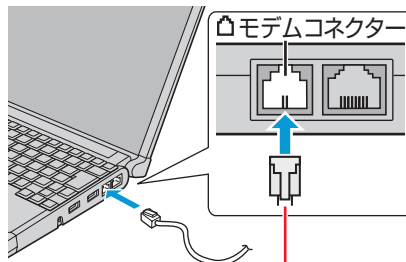
5 [国/地域] の をクリックし、[日本] をクリックする。

6 ダイヤル発信する場所や回線に合わせて所在地情報を設定し、[OK] をクリックする。

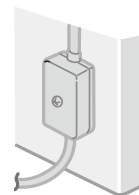
7 [OK] をクリックする。

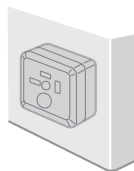
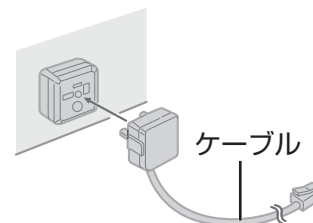
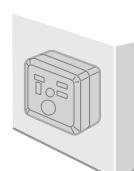
Step 2 モジュラーケーブルを接続する

接続するコネクターがモデムコネクターであることを確認してから、奥までしっかり挿し込んでください。

1 モジュラーケーブル（市販品）の突起部をモデムコネクターの向きに合わせて挿し込む。

2 モジュラーケーブルのもう一方を電話コンセントに挿し込む。

電話コンセントの種類は、モジュラージャック、ローゼット、3端子（または4端子）ジャックなどがあります。
電話回線とのつなぎ方は、端子の種類によって異なります。詳しくは、ご利用の電話会社へお問い合わせください。

- モジュラージャックの場合
  モジュラーケーブルをそのままつなぎます。
- ローゼットの場合
  最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。

- 3 端子（または 4 端子）ジャックの場合
  最寄りの NTT に連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。または、一方がモジュラープラグで他方が 3 端子（または 4 端子）プラグのケーブル（別売り）を用意し、図のようにつなぎます。資格のない方が工事をすることは認められていません。

3 端子

4 端子

◆モジュラーケーブルを取り外すとき

モジュラーケーブルを取り外すときは、突起部を押さえながら引き抜いてください。

Step 3 接続の設定をして回線を接続する

ご利用のプロバイダーから提供されたユーザー名やパスワード、インターネットに接続するための電話番号などの情報をお手元に準備してください。
通信中は、スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）/ 休止状態機能を使用しないでください。

<Windows 7 / Windows Vista の場合 >

1 （スタート）-［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［インターネットへの接続］をクリックする。

［インターネットへの接続］が表示されていない場合は、次の手順に従ってください。
<Windows 7の場合>
［ネットワークの状態とタスクの表示］-［新しい接続またはネットワークのセットアップ］-［インターネットに接続します］-［OK］をクリックしてください。
<Windows Vistaの場合>
［ネットワークの状態とタスクの表示］-［接続またはネットワークのセットアップ］-［インターネットに接続します］-［OK］をクリックしてください。

3 ［ダイヤルアップ］をクリックする。

4 接続に使用するデバイスを選択する画面が表示された場合は、デバイスを選択し、［次へ］をクリックする。

5 ［ダイヤルアップの電話番号］、［ユーザー名］、［パスワード］、［接続名］を入力し、［接続］をクリックする。

「XXXXXXに接続中」という画面が表示され、インターネットに接続します。

6 **<Windows Vista のみ>**
［閉じる］をクリックし、「ネットワークの場所と設定」画面が表示された場合は、接続している場所に合わせて［家庭］、［職場］、［公共の場所］のいずれかをクリックする。

詳しくは、［選択についての説明を表示します］をクリックしてください。

<Windows 7 の場合 >

回線を切断するときは、画面右下の通知領域の をクリックし、[ダイヤルアップ接続] - [切断] をクリックしてください。次回、回線に接続するときは次の手順に従ってください。

① 画面右下の通知領域の をクリックする。
② [ダイヤルアップ接続] をクリックする。
③ [接続] をクリックする。
④ ご利用のプロバイダーから提供されたユーザー名とパスワードを半角英数字で入力し、[ダイヤル] をクリックする。
大文字/小文字の違いに注意してください。
⑤「正常に接続しました」という画面で、[閉じる] をクリックする。

<Windows Vista の場合 >

回線を切断するときは、 (スタート) - [接続先] - [切断] をクリックしてください。次回、回線に接続するときは次の手順に従ってください。

① (スタート) - [接続先] をクリックする。
② 手順***5***で設定した接続名をクリックし、[接続] をクリックする。
③ ご利用のプロバイダーから提供されたユーザー名とパスワードを半角英数字で入力し、[ダイヤル] をクリックする。
大文字/小文字の違いに注意してください。
④「正常に接続しました」という画面で、[閉じる] をクリックする。

<Windows XP の場合 >

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [新しい接続ウィザード] をクリックする。**

2 **[次へ] をクリックする。**

3 **[インターネットに接続する] をクリックし、[次へ] をクリックする。**

4 **[接続を手動でセットアップする] をクリックし、[次へ] をクリックする。**

5 ［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］をクリックし、［次へ］をクリックする。

「デバイスの選択」画面が表示された場合は、使用するモデムをクリックしてチェックマークを付け、［次へ］をクリックしてください。
使用しないモデムはチェックマークを外してください。

6 ［ISP名］にご利用のプロバイダー名を入力し、［次へ］をクリックする。

ここで入力した名前が、ダイヤルアップの接続名になります。

7 ［電話番号］にアクセスポイントの電話番号を入力し、［次へ］をクリックする。

8 プロバイダーから提供されたユーザー名やパスワードを入力し、［次へ］をクリックする。

9 ［完了］をクリックする。

デスクトップにショートカットを作成する場合は［この接続へのショートカットをデスクトップに追加する］にチェックマークを付けてください。

10 ［スタート］-［接続］をクリックし、手順*6*で入力したプロバイダー名（接続名）をクリックする。

11 ［プロパティ］をクリックする。

12 ［ネットワーク］をクリックし、［設定］をクリックする。

13 プロバイダーからの情報に従って各項目を設定し、［OK］をクリックする。

14 ［インターネットプロトコル(TCP/IP)］をクリックし、［プロパティ］をクリックする。

15 プロバイダーからの情報に従って各項目を設定する。

16 [詳細設定]をクリックする。

17 プロバイダーからの情報に従って各項目を設定する。

18 [OK]をクリックする。

19 デスクトップの (Internet Explorer)をダブルクリックする。

20 インターネットに接続するためのユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックする。

プロバイダーから提供されたユーザー名とパスワードを半角英数字で入力します。大文字/小文字の違いに注意してください。

モデムリングリジューム機能を使う

モデムリングリジューム機能を使うと、内蔵モデムに接続した回線に電話がかかってきたときに、スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）のパソコンをリジュームさせることができます。不在時のファクス自動受信などを活用する際に便利です。
この機能を使用する場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアを起動し、待ち受け状態にしておく必要があります。

お知らせ

- リジュームした後は、画面は消えたままです。画面を表示するには、キーボードまたはホイールパッドを操作してください。

モデムリングリジューム機能を有効にする

<Windows 7 / Windows Vista の場合 >
管理者のユーザーアカウントでログオンしてください。

1. （スタート）-［すべてのプログラム］-［ Windows FAX とスキャン］をクリックする。
2. ［ツール］-［FAX の設定］をクリックする。
3. ［デバイスでFAX呼び出しを受信できるようにする］をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックする。
4. ウィンドウを閉じる。
5. （スタート）-［コンピューター］（または［コンピュータ］）をクリックする。
6. ［システムのプロパティ］をクリックする。

モデムリングリジューム機能を使う

7 ［デバイスマネージャー］または［デバイスマネージャ］をクリックする。

8 ［モデム］をダブルクリックし、HDAUDIOではじまる内蔵モデムをダブルクリックする。

9 ［電源の管理］をクリックし、［このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする］または［このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする］をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックする。

<Windows XP の場合 >

1 ［スタート］-［プリンタとFAX］をクリックする。

2 左側の［プリンタのタスク］の［FAXのセットアップ］をクリックする。
「コンポーネントの構成」画面が表示された後、FAXのアイコンが表示されます。2回目以降は、この操作は不要です。

3 FAXアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 ［デバイス］-［プロパティ］をクリックする。

5 ［受信］をクリックし、［デバイスを受信可能にする］をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックする。

6 「FAXのプロパティ」画面で［OK］をクリックする。

7 ［スタート］-［コントロールパネル］-［パフォーマンスとメンテナンス］-［システム］をクリックする。

8 ［ハードウェア］-［デバイスマネージャ］をクリックする。

モデムリングリジューム機能を使う

9 ［モデム］をダブルクリックして、内蔵モデムをダブルクリックする。

10 ［電源の管理］をクリックし、［このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする］をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックする。

使用上のお願い

- **次の場合、リジュームすることができません。**
  - 内蔵モデム以外のモデム（PCカードモデムなど）の回線に電話がかかってきた場合
  - パソコンの電源が入っていない場合
  - 休止状態の場合
- **この機能を使用する場合は、ACアダプターを接続しておいてください。**
- **スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）に移行するまでの時間の設定について**

  <Windows 7 / Windows Vista の場合>

  通知領域の または （または、 または ）をクリックし、［その他の電源オプション］をクリックして［コンピューターがスリープ状態になる時間を変更］または［コンピュータがスリープ状態になる時間を変更］をクリックすると、スリープ状態に入るまでの時間が設定できます。

  おおよその通信時間を考慮して設定してください。

  <Windows XP の場合>

  ［スタート］-［コントロールパネル］-［パフォーマンスとメンテナンス］-［電源オプション］-［電源設定］をクリックすると、［システムスタンバイ］でスタンバイ状態に入るまでの時間が設定できます。
  おおよその通信時間を考慮して設定してください。
- **通信中でも設定時間になると、スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）に入り、通信が中断されることがあります。**

  スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）に移行するまでの時間を［なし］に設定しておくと、通信の途中でスリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）に入ることはありませんが、リジュームした後、長期不在の場合でも電源が入ったままになります。
- **電話がつながるまでに時間がかかります（リジュームで起動する時間相当）。**

  通常の電話呼び出しよりも長く呼び出しを行ってください。送信側の呼び出しを長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで着信までのベル回数を少なく設定してください。

ATコマンドを設定する

通信を行う際に、毎回 AT コマンドでモデムの設定をする必要がある場合は、次の手順で設定してください。
AT コマンドについて詳しくは、「内蔵モデムコマンド一覧」をご覧ください。（➔ 14 ページ）

<Windows 7 / Windows Vista の場合 >

1 （スタート）- ［コンピューター］（または［コンピュータ］）をクリックする。

2 ［システムのプロパティ］をクリックする。

3 ［デバイスマネージャー］または［デバイスマネージャ］をクリックする。

4 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して［はい］または［OK］をクリックします。

5 ［モデム］をダブルクリックする。

6 ATコマンドを設定するモデムを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

7 ［詳細設定］をクリックする。

8 ［追加設定］の［追加の初期化コマンド］にATコマンドを入力する。
例：スピーカーを常時オフにするには、「ATM0」と入力（「0」は数字）

9 ［OK］をクリックして、すべての画面を閉じる。

<Windows XP の場合 >

1 ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［電話とモデムのオプション］をクリックする。

2 ［モデム］をクリックする。

3 ATコマンドを設定するモデムをクリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 ［詳細設定］をクリックする。

5 ［追加設定］の［追加の初期化コマンド］にATコマンドを入力する。
例：スピーカーを常時オフにするには、「ATM0」と入力（「0」は数字）

6 ［OK］をクリックして、すべての画面を閉じる。

内蔵モデムコマンド一覧の見方

<Windows 7 / Windows Vista の場合 >

（スタート）-［すべてのプログラム］-［Panasonic］-［オンラインマニュアル］-［内蔵モデムコマンド一覧］をクリックしてください。

<Windows XP の場合 >

［スタート］-［すべてのプログラム］-［Panasonic］-［オンラインマニュアル］-［内蔵モデムコマンド一覧］をクリックしてください。

ネットワークに接続できない

セットアップユーティリティの「詳細」メニューで［モデム］が［有効］に設定されていることを確認してください。
セットアップユーティリティを起動するには、Windows を終了して再起動し、起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に【F2】または【Del】を押してください。

スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）/休止状態にできない

モデムで通信している場合、通信が終わってからスリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）にしてください。
モデムで通信をしているときは、スリープ状態（Windows XP の場合はスタンバイ状態）にならない場合があります。
操作ができなくなった場合は、電源スイッチを 4 秒以上スライドして（CF-R9 シリーズの場合は電源スイッチを 4 秒以上押して）強制的に電源を切ってください。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。

PCJ0281C_XP/V/7